

天 振 号
平成20年10月8日

国土交通省道路局長 様

天塩町長 浅 田 弘



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け、国道企第37号にて依頼のありました、標記「今後の道路行政についての意見・提案」について、別紙により意見提案書を提出いたします。

(企画商工課振興計画係)

道路は、住民生活にとって欠くことのできない基本的かつ重要な公共施設であり、この道路を基本として日々の日常生活が営まれており、更に産業経済活動においても自動車においても自動車の主役となって、地域経済の発展や住民福祉の向上に密接に結びついている。

また、道路は、単なる交通基盤から環境施設として情報・交流などソフト面の充実のほか救急医療等の医療過疎の解消や観光振興という観点からも常に安全・安心で信頼性の高い道路が求められているが、道路整備においては、面積が広大で都市間距離が長く、半年は冬季節という特殊性に配慮し、北海道に重点的に配慮していく必要がある。

要望・提案

- ① 道路特定財源の一般財源化においても、地方が必要とする道路の整備や維持管理に要する財源の確保には特に配慮願いたい。
- ② 本地域は、都市間距離が非常に長く、産業経済活動の中心となっている物流は、自動車が主役であることから、高規格等の幹線道路整備には広大な北海道の地域性を考慮し、早期整備に特に配慮願いたい。
- ③ 本地域は、1年のうち約半年が冬季節であり、吹雪対策や除排雪等の冬季対策が非常に重要なことであることから、この特殊性に十分配慮願いたい。
- ④ 事業の評価に関しては、JR路線も無く、道路に全て依存している地域には、特に考慮すべき。

○現状

当地域においては、留萌・稚内間の国道232号と稚内・旭川間の国道40号の2路線が配置されており、留萌、札幌への道央方面及び、稚内、名寄、旭川へ向かう道北都市部方面への移動路線が確保されております。

しかしながら、都市部への移動に時間を要し、更に冬期間は、北国特有の吹雪による交通遮断や交通事故に遭遇する機会が非常に多い状況にあります。

また、救急医療におきましても、重病・重症等では2次医療や3次医療を必要とするため、救急車による稚内、留萌、名寄、旭川方面の2次、3次医療機関へと搬送すること多いのが現状であります。

また、現在、国道232号天塩バイパスにおいては、一部共用開始され、利用されておりますが、今後継続的かつ早期確実に整備されることが望まれております。

このほか、町道219路線の維持や橋梁の老朽化等にも配慮しながら今後、計画的な維持管理が必要となり、道々においても適正な道路整備管理をお願いしなければならぬ状況にあります。

○課題

① 国道232号の天塩区間におきましては、道路の路盤沈下による凹凸があり、このため救急車の安全走行や患者の安静移動に少なからず支障をきたすものと考えられます。

また、稚内、名寄、留萌、旭川方面の2次、3次医療機関への救急搬送にも多くの時間を要するなど、住民の生命維持確保のため、救急移動時間の短縮も大きな課題となっている。

② 冬季間における車の安全走行のための吹雪対策も大きな課題となっている。

③ 財政状況が非常に厳しい状況にある中、町道の維持や橋梁の老朽化対策に多くの費用を要することが大きな課題であり、更に、将来、天塩バイパス工事完了に伴って国道の移管が想定されるが、これの維持管理に伴う費用負担増対策も今後の課題

本町における町の目指すべき姿としては、①新しい時代を生きる産業活力豊かなふさとづくり、②未来と安全を支える基盤豊かなふさとづくり、③思いやりと安らぎあふれる心豊かなふさとづくり、④快適な暮らしのある自然豊かなふさとづくり、⑤いきいきと学び創造性豊かなふさとづくり、⑥みんなでつくる個性豊かなふさとづくり、6点の大きな目標に向かって地域づくりを進めております。

まちづくりを進める上において、道路は、幼児から高齢者にといたる地域住民の日常生活や産業経済活動の根幹となるものであり、更に、主要都市部や近隣町村へのアクセス、救急医療対策や観光振興対策を進めていく上においても、道路の果たす役割は、非常に重要で誠に大きなものがあります。

このようなことから、道路のあるべき将来像としては、次のようなことを目指すべきものと考えております。

- ① 地域内における道路は、通学や通勤等の歩行及び車両通行に支障がなく、更に高齢者や障害者に配慮した安全で安心な道路であること。
- ② 農業・漁業・商工業等、地域産業活動振興のため、迅速かつ安定した輸送路の確保を目指す
- ③ 冬季間における除・排雪については、住民生活に支障のないように配慮
- ④ 救急医療における患者搬送においては、高速移動による早期の高次医療受診体制の確保
- ⑤ 観光客等が景観等を楽しみながら移動できる、快適な道路であること。
- ⑥ 災害に対する道路や橋梁の安全確保、更に災害時における道路情報や災害情報の迅速な対応と、国道、道々、市町村道とのネットワーク整備が必要

重点事項	代表事例	期待する効果や評価等	その他
(例) ・地域活力の向上	一般国道40号天塩防災 一般国道232号天塩バイパス	① 農業等、産業経済活動における輸送体制の確保による産業振興。 ② 救急医療体制の確保による住民の安全確保。 ③ 観光振興の推進による地域の活性化。	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	市町村橋梁の老朽化対策	① 橋梁架け替えによる安全走行の確保。 ② 地震対策路線の確保による道路ネットワークの確立。	
・少子・高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ……	—	—	